

■ 持続可能な社会を担う資質と能力をもつ生徒の育成（高穂中学校）

1 【活動の趣旨】

本校では、課題解決のための計画を立て、失敗を恐れずやり抜く力を持った生徒を育成するため、学習の場を地域へ広げ、日頃の学校生活では学べない経験や知識が得られるように地域協働合校事業を推進している。

2 【特徴的な活動内容】

○たかほ学

1年生では「ふるさと学習」として草津市自慢を切り口に、関心のある8分野（歴史・文化、開発、自然、農業・食、国スポ・障スポ、防災、環境、物づくり）に分かれてフィールドワークや専門家によるセミナーを実施。

2年生では「生き方学習」としてキャリアパスポートを活用して自分を見つめなおすとともに、自分の適性に合った職業について調べ、2学期に実施する職場体験学習へとつなげた。事前事後学習として様々な職業の方からの職業講話や、講師を招いての「社会人としてのマナー講座」を実施。お世話になった職場の方を招いてWorkingサミットを実施。

3年生では「社会参加学習」として修学旅行先の沖縄で7つの分野（平和、観光、農業、自然、防災、文化、交通）にわかれて学びを深め、SDGsの視点を取り入れながら他の分野とコラボレーションさせ、より良い草津市を創るための提案を考え、広く伝えていくためグローバル実践（地域や企業、大学や小学校と連携）を行った。



【2年生 Workingサミット】



【3年生 グローバル実践】

3 【実施に当たっての工夫】

- ・3年間の系統性を一覧にして共有し、各教科とのつながりもESDカレンダーに記載したことで常に教員間で目的を意識した教育活動を実践できた。
- ・専門家を招いたセミナーでは、分野ごとの学びを深めるとともに課題を発見し、フィールドワークによって見たり聞いたり体験することで新たな発見や疑問を持つことにつなげた。
- ・広く発信する場として学校内に留まらず、異世代交流を意識して校外へ発信の場を設けた。

4 【事業の成果】

- ・地域人材の活用やフィールドワーク等、社会に開かれた探求型学習を実施できた。

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

- ・生徒主体に学びが進むため、外部との連携が急に決まることがあり、日程調整や内容伝達に必要な時間を確保することが難しい。